

平成 25 年 7 月発行 発行元/一般財団法人永頼会 松山市民病院

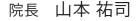




〒790-0067 愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026 発行責任者/院長 山本祐司 編集/松山市民病院広報委員会

近況報告 ~永頼会事業の変革と

信頼・実践の地域医療~





暑中お見舞い申し上げます。日頃よ り関係各位の皆様には、一般財団法人 永頼会松山市民病院との連携・交流を いただき厚くお礼申し上げます。

今日本では、安倍政権の経済政策、 アベノミクスなるものが期待だけでは なく、実体経済がきちんと活性化され、 希望が見えるような成長戦略となるよ う前進しています。「経済再生と財政健 全化」の目標値は高く設定され、社会保 障費も聖域とせず見直しという項目が 気になるところです。

一方、日本と北東アジア諸国との政 治・外交での冷めた関係は、今後世界 経済の成長エンジンたるアジアとの企 業活動のみならず、国民の家計や観光 などの経済活動にも影響を及ぼしてく ると思われます。富士山の世界文化遺 産登録が呼び水となって、世界中から 多くのヒトやモノが日本に集まり、企業 にも国民にも活気がとり戻されるよう 祈ります。

さて、永頼会松山市民病院は今、新S 棟建設や院内業務のIT化に向けて変革 を迎えています。建設は順調に進み、来 年(平成26年)2月初旬に第一期工事の 終了引渡し、2月22日には記念式典と内 覧会、その後3月末に引越し、4月1日よ り診療報酬改定に合わせて電子カルテ による新病棟診療をスタートする予定 です。

また、昭和42年創立の永頼会松山中 央乳児保育園は社会福祉法人へ移行 し、同地で新築建て替えの計画が、本年 6月の永頼会評議員会で承認されまし た。保育園に併設していた看護学生実 習棟と職員宿舎は、先行して平成26年3 月末までに病院の敷地に新築移転しま

す。併せて自走式駐車場の設置も必要 となります。病院の増改築に伴い、これ らの永頼会関連施設が再建・整備され ることは、職員の雇用確保とモチベー ションの高揚、また多様な働き方への 支援、そして地域社会への貢献などに 繋がるものと考えます。

当院は、救急・急性期医療を中心に、 専門性を高く保ちながら、地域の基幹 病院としての医療を提供する役割が求 められています。輪番制二次救急医療 では、年間救急患者総数8,623人(H22 年度)から10,595人(H24年度)へ、また 救急車搬入件数2,623件(H22年度)か ら2,945件(H24年度)へと増加しつつあ ります。これを受け、この4月よりN棟北 側の一方通行路に面して救急車専用口 やER室が整備され、救急車の搬入・搬 出がスムースになりました。また、5月よ り小児の二次救急の輪番担当も関係各 位の協力により再開されました。

-方、がん連携推進病院の県指定を 受け、リニアックの更新や、がん登録シ ステム、精神科医を加えた緩和ケア チームなどを充実し、健診・ドック課の 活動にも力を入れています。

変革のためには舵取りとエンジンが 必要です。舵取りの方向性は既に決 まっており、職員は推進力となる成長エ ンジンの役割を果たします。

「信頼と実践」一地域の信頼に応える 医療の実践、という今年のスローガン のもと、職員一同新たな変革へ向けて 取り組んでまいります。今後とも、私ど も松山市民病院へのご指導ご鞭撻をよ ろしくお願いし、今夏の近況報告とさせ ていただきます。